

北海道日本ハムファイターズ・ ボールパーク構想の推進状況について

北海道日本ハムファイターズ・ボールパーク構想の推進について、現在までの動きや協議状況などについて報告します。

1. ボールパークエリア名及び新球場名について

1月29日、株式会社北海道日本ハムファイターズ及び株式会社ファイターズスポーツ&エンターテイメントによる記者会見が実施され、ボールパークエリア名及び新球場のネーミングライツ等に関する事項が発表されました。

発表概要 ※記者会見資料より抜粋

① ボールパークエリア名称

「HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE（北海道ボールパークFビレッジ）」



② 新球場名称（ネーミングライツ）

「ES CON FIELD HOKKAIDO（エスコン フィールド HOKKAIDO）」



2. 大規模災害時における4者覚書の締結について

1月24日、北海道、北広島市、株式会社北海道日本ハムファイターズ、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントの4者により、大規模災害時における相互連携・相互協力に関する覚書を締結しました。

締結内容

- **目的** 相互連携・相互協力のもと、新球場開業までの間、開業後における地域の防災の拠点等としての活用方策に関して、必要な事項を検討、推進することを目的とする。
- **連携・協力事項**
 - (1) 避難場所等としての機能に関すること
 - (2) 防災備蓄倉庫としての機能に関すること
 - (3) その他前条の目的を達成するために必要と認める事項

3. ボールパーク構想推進に係る市民説明会の実施について

ボールパーク構想の推進について、市が主体となるインフラ整備や、球団によるスタジアム建設、周辺機能についてなど、各種取組の進捗を、市及び球団からそれぞれ説明を行い、市民の皆様と意見交換を行いました。

○日時・会場

- ・2月18日（火）／63名／芸術文化ホール活動室
- ・2月19日（水）／19名／ふれあい学習センター夢プラザ
- ・2月20日（木）／26名／西の里会館
- ・2月22日（土）／47名／市役所多目的室

実施概要

- 市及び球団からの説明後、市民の皆様と質疑応答・意見交換を実施
- 質疑応答・意見交換の内容については、市ホームページで公開
- 説明会資料についても今後公開を予定

4. オール北海道ボールパーク連携協議会について

北海道全体の価値・魅力向上及び成長・発展への寄与をテーマに近隣 14 市町村及び民間企業などが参画し、昨年7月に発足した「オール北海道ボールパーク連携協議会」の第2回目の会議を開催しました。

- 日 時／令和2年2月25日（火）
- 会 場／北広島市芸術文化ホール活動室

実施概要

<構成団体>

(圏域連携市町村) ※近隣市町村及び JR 千歳線近郊エリアを中心に構成
札幌市、小樽市、苫小牧市、江別市、千歳市、恵庭市、石狩市、
当別町、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、白老町、新篠津村、北広島市

(民間企業)

大林組、電通、JR 北海道、北海道中央バス、ジェイ・オール北海道バス、
NEXCO 東日本 等

(交通関連事業者)

JR 北海道、北海道中央バス、ジェイ・オール北海道バス、NEXCO 東日本 等

(官公庁)

北海道開発局、北海道運輸局、北海道経済産業局、北海道、北海道警察 等

<協議内容>

- ・ エリア及び新球場に関する進捗状況について
- ・ 協議会の進捗状況について 等

5. 関係機関との協議について

(1) 球団（ファイターズ スポーツ&エンターテイメント）との協議

■ ボールパークエリアについて

施設や道路等、各種整備にかかる詳細について、必要手続きや工期等の確認を行うほか、電気、ガス、上下水道などのインフラ環境の整備に向けた詳細について適宜協議を実施。

■ 連携事業について

パートナー協定を更新し、次年度の連携事業について実施内容を整理。30 キロロードレースでの連携、学校教育における連携などについては調整をスタートしたほか、多世代にアプローチできるような新たな取組について庁内の関係部局と共に検討。

■ オール北海道ボールパーク連携協議会について

会議の開催に向け、事務局として内容の整理を行ってきたほか、参画団体への周知、今後の具体的な取組スケジュールなどについて協議を実施。

(2) 北海道庁との協議

■ 道路及び公園整備に関する協議

新設アクセス道路及び既存道路の整備スケジュールの確認・調整及び10月から粗造成を開始した総合運動公園内の整備内容について協議。

■ 総合運動公園に係る都市計画について

ボールパーク周辺の道路整備に係る都市計画道路の変更及びボールパークの開発手法について引き続き協議。

■ 防災機能の活用について

防災拠点機能の活用方策について、締結した覚書に基づき、防災備蓄倉庫の設置場所や規模、また、運用方法などを協議。

(3) JR北海道との協議

■現駅の改修、新駅の整備について

現駅の改修に向け、市有施設である自由通路や交流広場などに関連する事項について詳細を確認し、運営等に係る具体的な手法について協議を実施。

新駅の整備については、球団も交えた実務者協議において、整備手法や機能、ボールパークエリアとの連動などについて考え方を整理し、今後の詳細検討の土台作りを実施。

(4) 近隣市町村との協議

■オール北海道ボールパーク連携協議会

第2回オール北海道ボールパーク連携協議会の開催のほか、近隣自治体による圏域連携勉強会、近隣自治体及び民間企業の参加による各種分科会を開催。

(5) 関係機関との協議

■交通関係機関及び交通事業者

鉄道輸送やバス輸送のほか、道路交通について、「時間分散策」「経路分散策」「駐車場の円滑化」を対策の3つの柱と設定。今後それぞれの具体策について、検証を実施。

■自然保護関係団体

新設アクセス道路整備に関する環境保全対策について、また、道路や駐車場整備、自然環境との共存に向け、定期的な意見交換を実施。

事業が具体化していく中で、有識者も交えた意見交換を実施。

6. 今後の予定について

- ボールパーク構想推進シンポジウム（3/7）（※開催延期）